

ローカル ハッピーネス (しあわせな地域には、なにがあったかな?)

黒松内町幸福度アンケート結果

今後黒松内が理想の姿に向かっていくために、町民皆様の想いを聞いた『黒松町幸福度アンケート調査』の結果が取りまとめられました。さあ、黒松内町の『しあわせ』はどんなところにあったのでしょうか。

❖ 調査概要 ❖

調査対象： 黒松内町に居住する18歳以上の町民500名の方を無作為抽出

調査方法： 郵送及びインターネット

調査期間： 平成28年10月～11月

回収結果：

対 象 者	500名
郵 送 回 答	235名
イ ン タ ー ネ ッ ト 回 答	36名
回 答 合 計	271名
回 答 率	54.20%



❖ 幸福度指標について ❖

今回の調査は客観的な調査ではなく、『地域しあわせ風土指標』を導入し、町民の主観的な感情と、実感している幸福度を最大限に反映させるというものです。

幸福学の第一人者である慶應義塾大学の前野隆司教授は、人が幸せを感じる要因は4つ『自己実現と成長』『つながりと感謝』『独立とマイペース』『前向きと楽観』であり、人は成長の機会に恵まれ、大切な人とのつながりを保ち、自分らしく、前向きな気持ちで行動できれば、しあわせな人生を送れるということです。

しかし、経済的に困窮していたり、災害などの身の危険を感じていたら、しあわせとは言えません。そこで、この4つに経済・防犯・防災などに関連する『安全と安心』を加えた5つの因子を、地域の幸福度を高めるために必要であると定義しています。

この調査では、幸福度を2つの側面から調査しています。1つはそこで暮らす個人が上記5つの因子を現在どの程度感じているかという『風』の調査。5つの因子を感じている人が多いほど、しあわせな人が多いことになります。

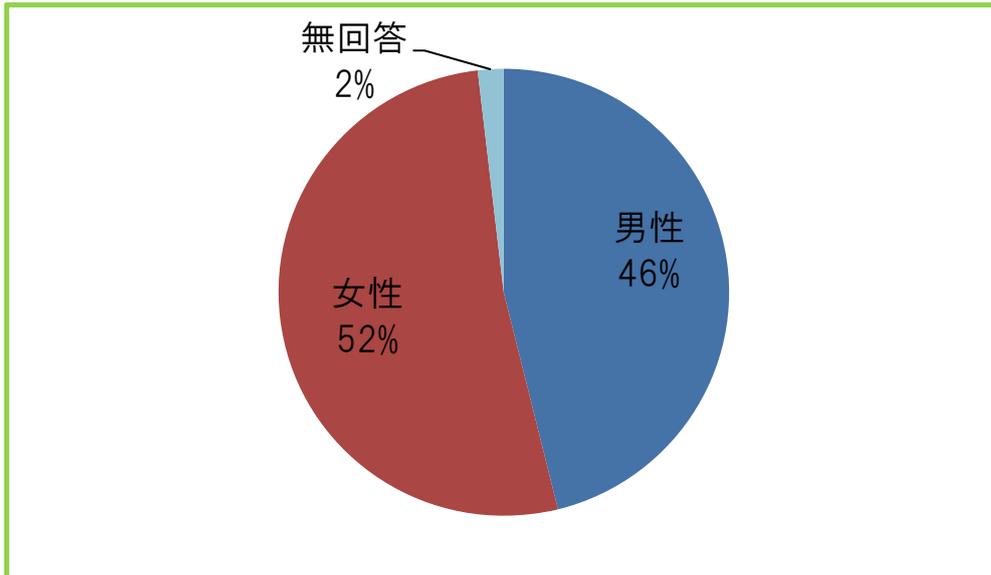
もう1つは、その地域にそれを後押しする価値観や土壌が、どの程度根ざしているかという『土』の調査です。地域には、長年培われた独自の考え方や、価値観が根付いています。5つのしあわせの因子を町民が感じることを後押しする土壌がなければ定着しません。この2つが揃って始めて、地域の中長期的なしあわせを実現することができるのです。

調査実施主体：黒松内町まちづくり推進委員会

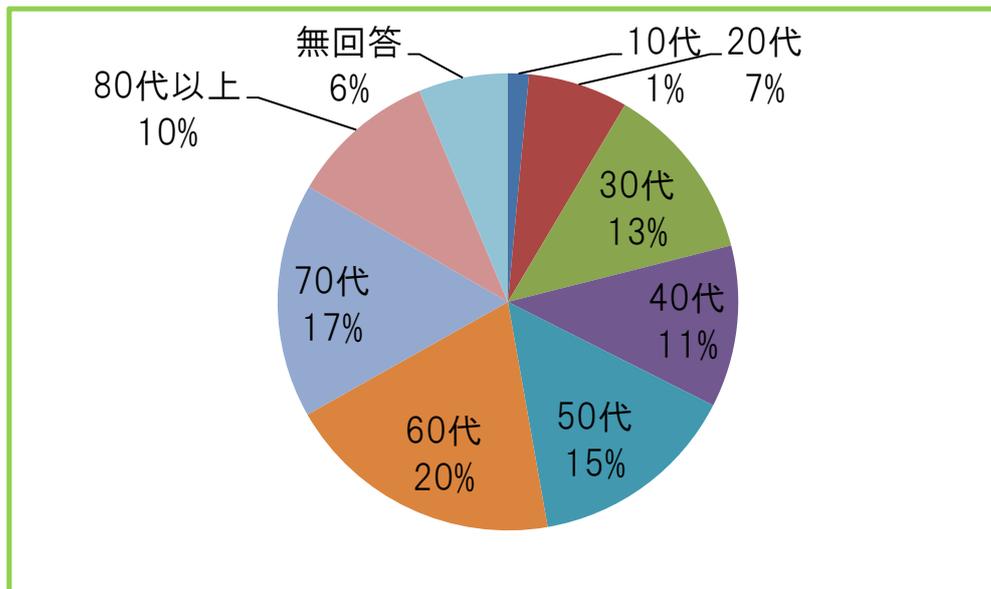
・・・あなたご自身について・・・



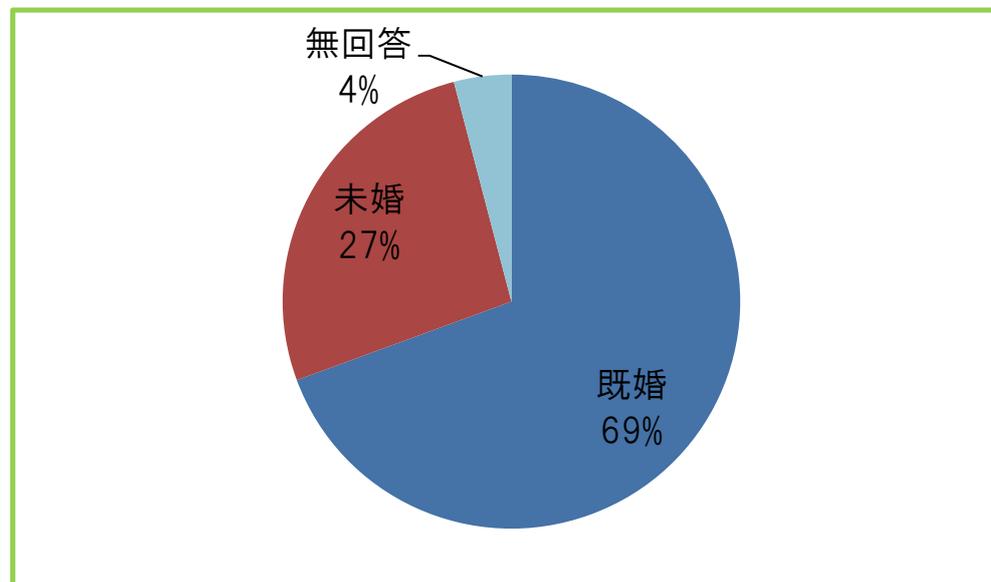
♣ あなたの性別を教えてください ♣



♣ あなたの年齢について教えてください ♣



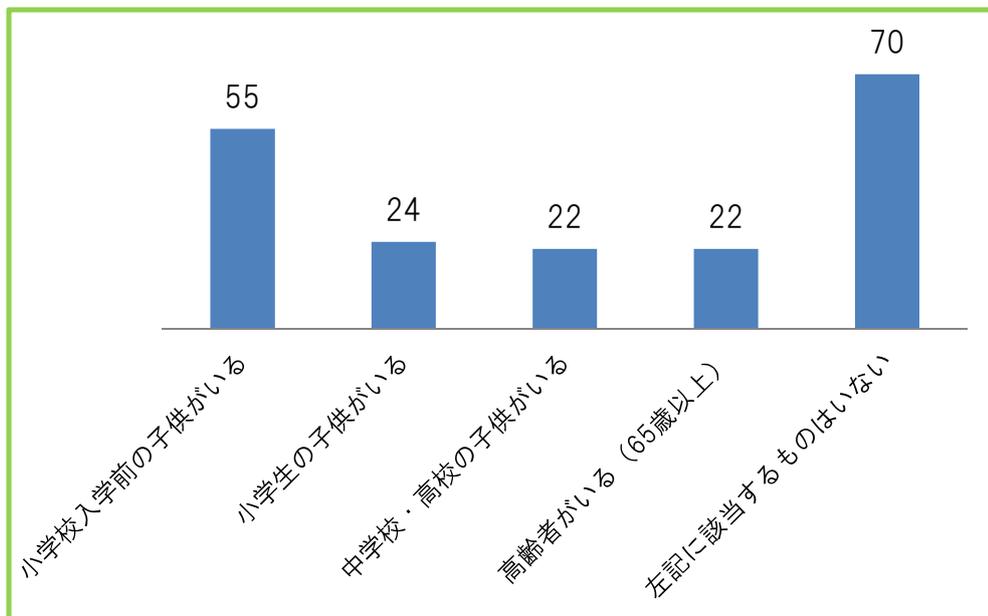
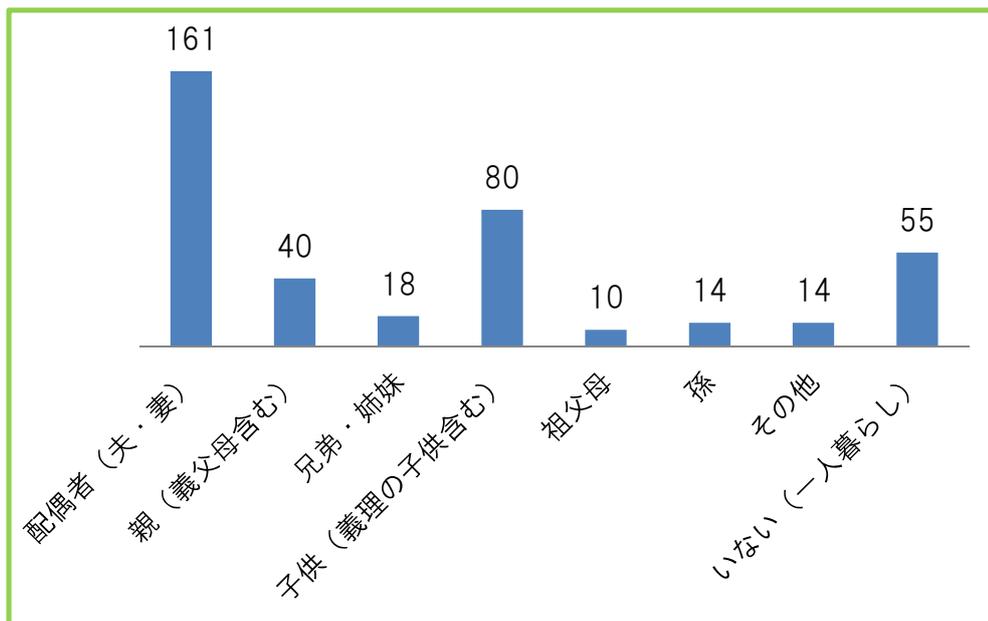
♣ あなたは結婚されていますか ♣



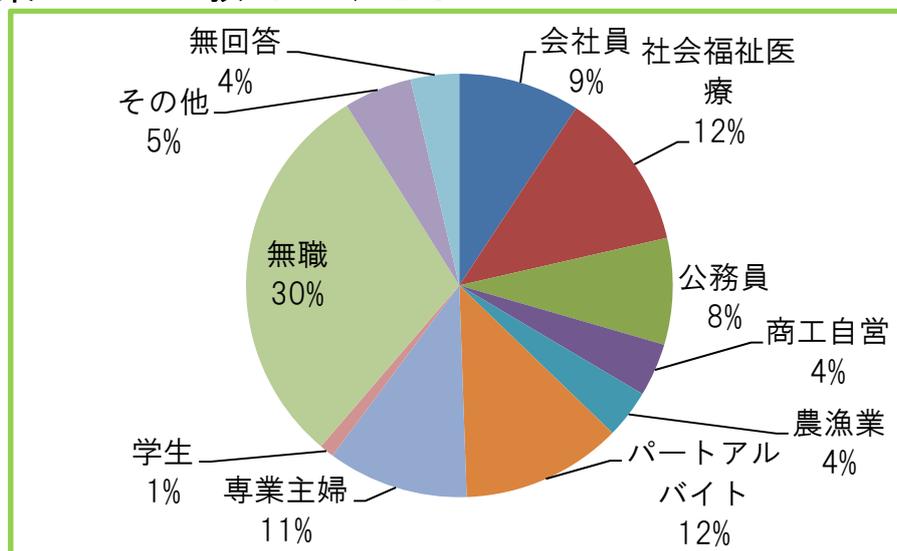
・・・あなたご自身について・・・



❖あなたと一緒に生活している家族について教えてください❖

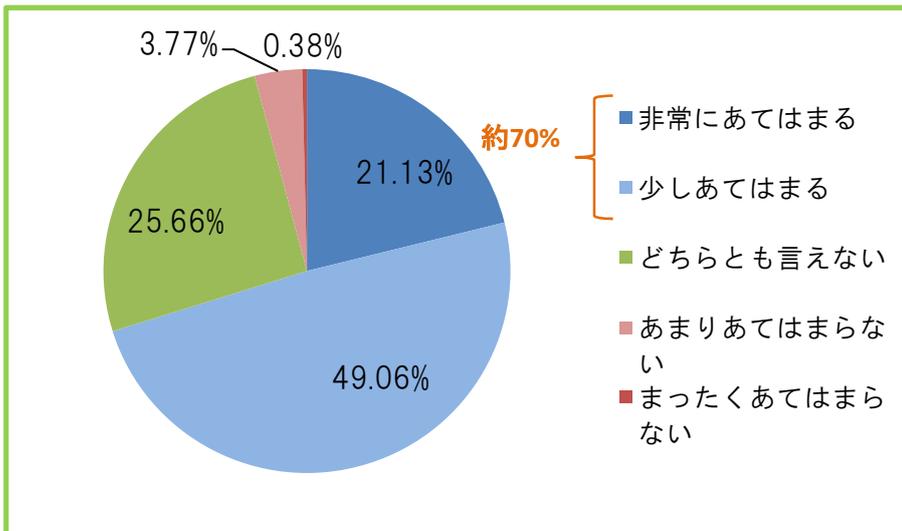


❖職業について教えてください❖

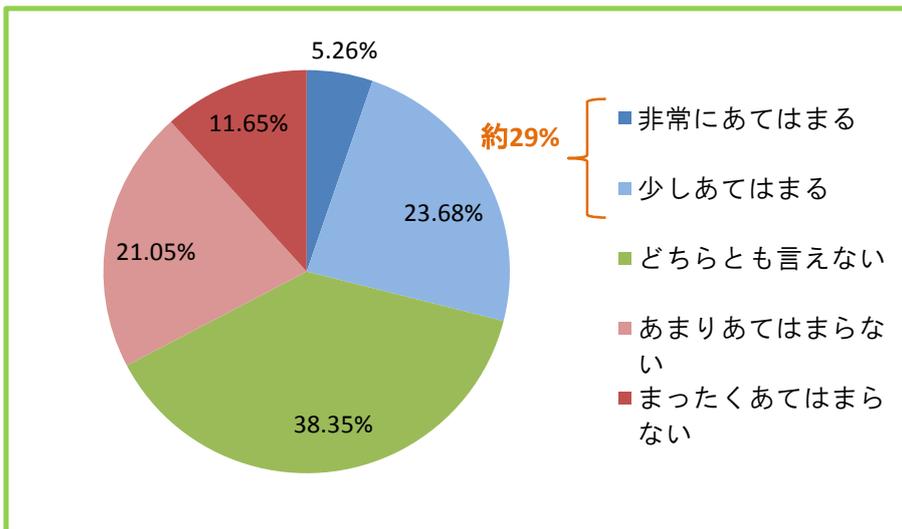




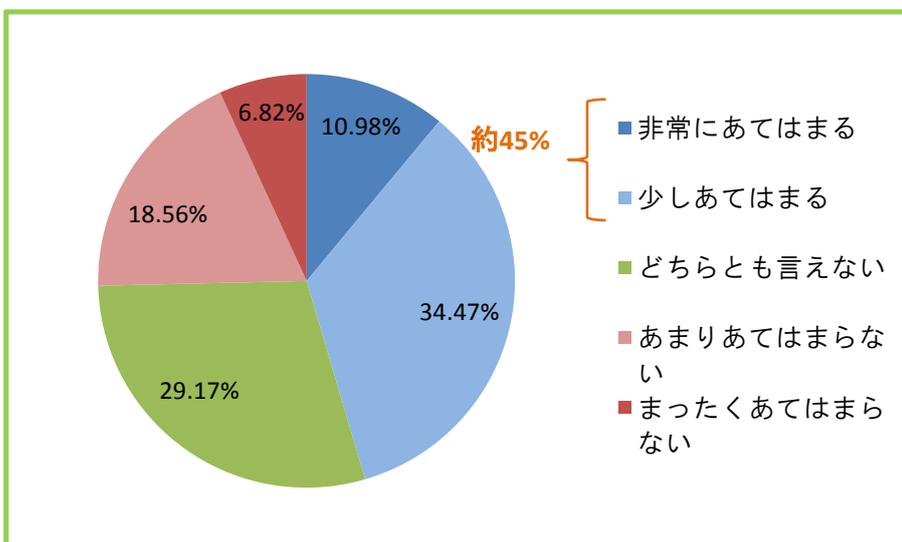
❖ 私は現在、しあわせである ❖



❖ 私は現在、経済的に余裕がある ❖

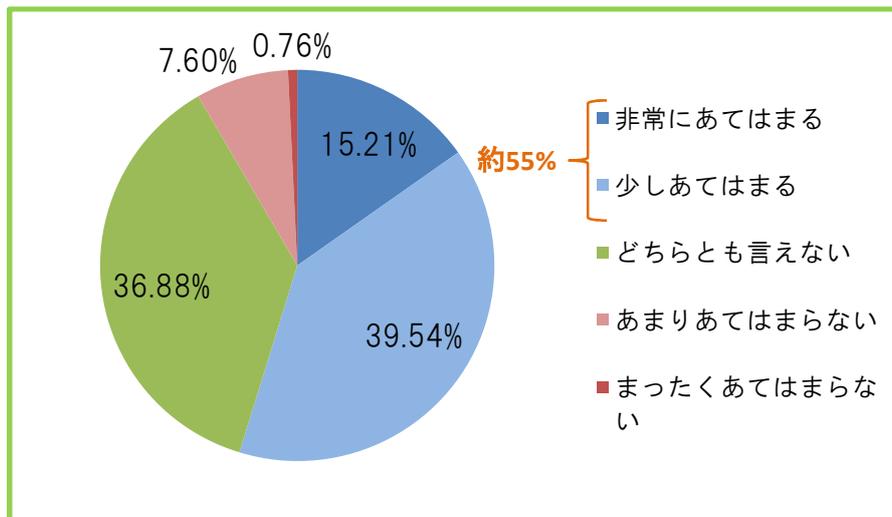


❖ 私は現在、時間的に余裕がある ❖

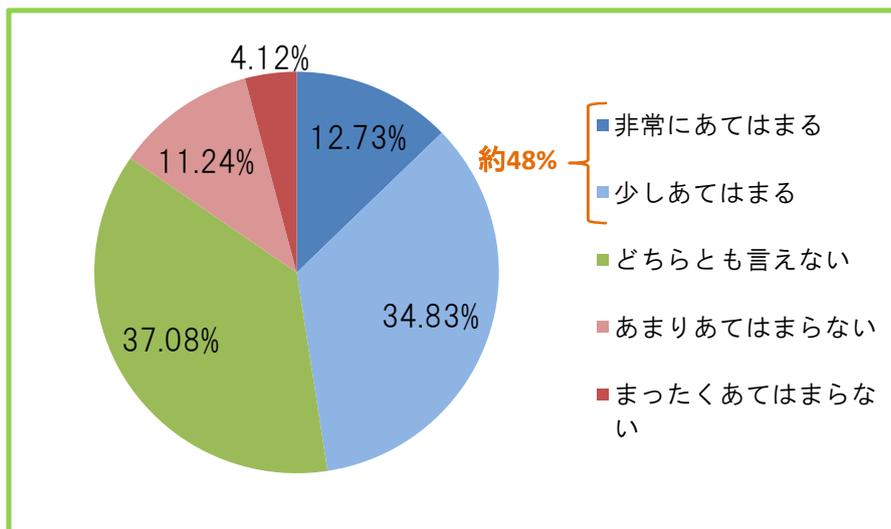




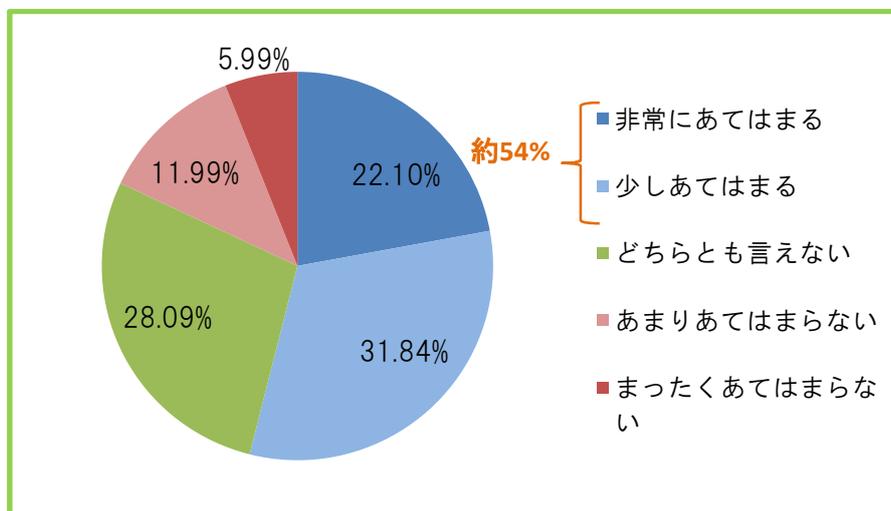
❖ 私の現在の生活は楽しい❖



❖ 私は現在の生活に満足している❖



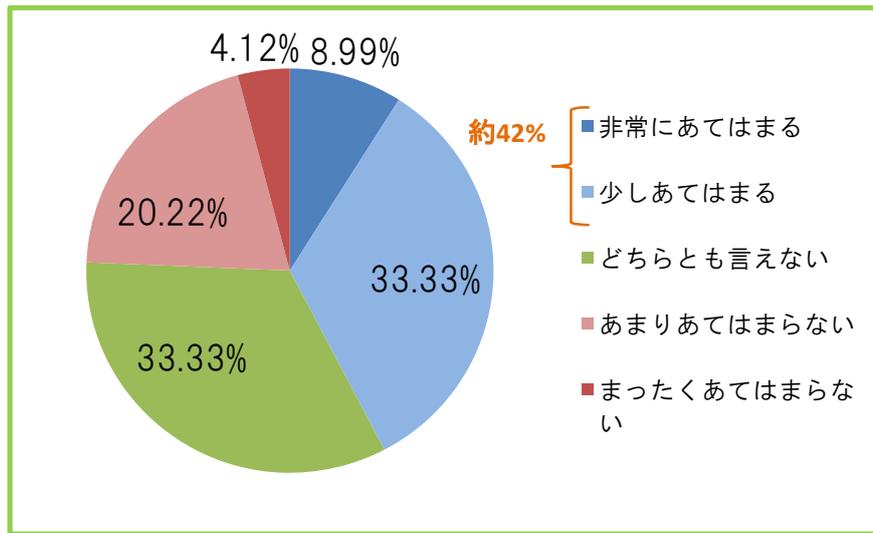
❖ 私は現在、健康である❖



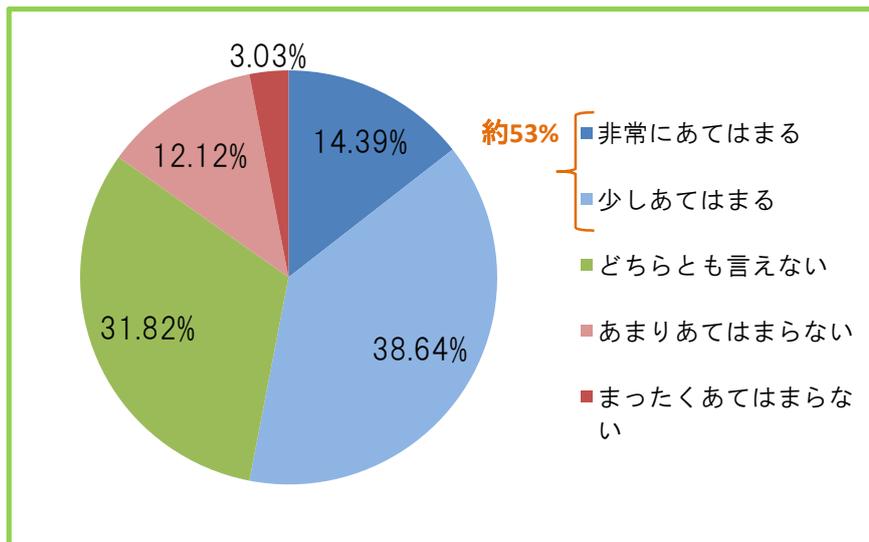
・・・あなたご自身について・・・



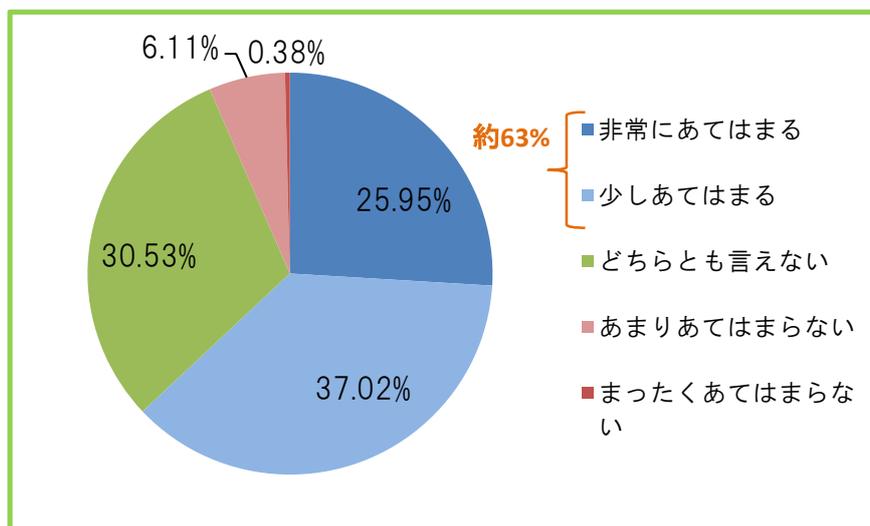
❖私は現在、精神的にゆとりがある❖



❖私は現在、仕事（家事や地域活動を含む）へのやる気がある❖



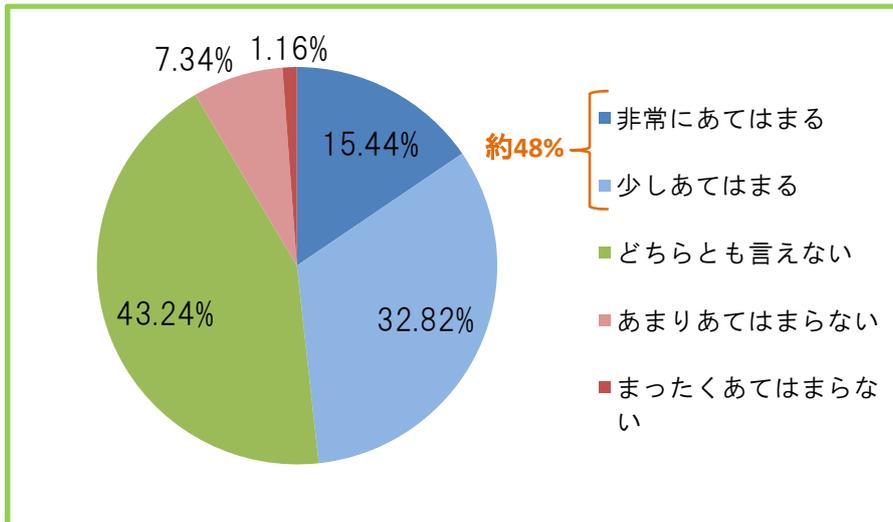
❖私の家族の人間関係は充実している❖



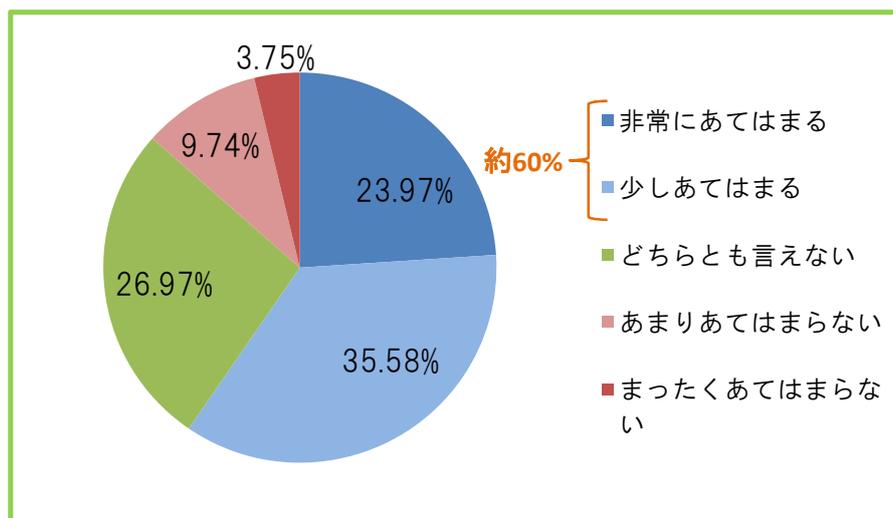
・・・あなたご自身について・・・



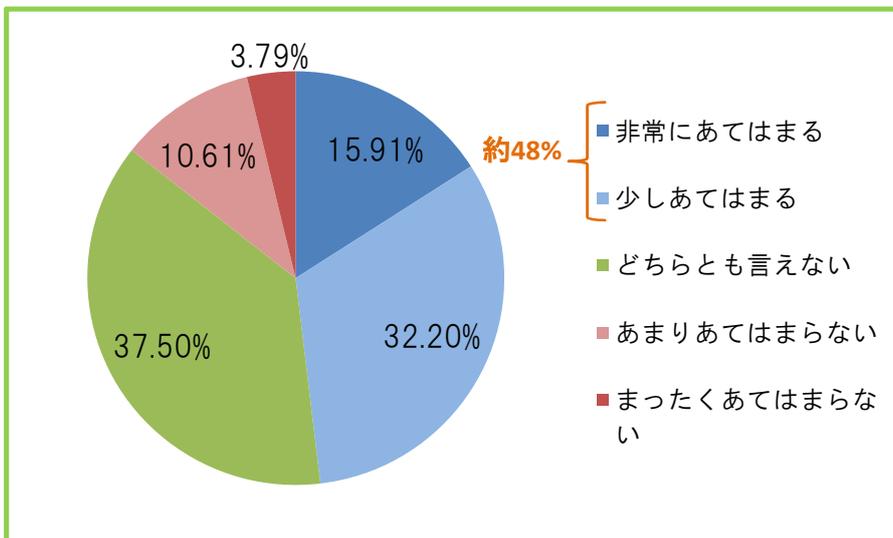
❖ 私の家族以外の人間関係（仕事、学校、趣味等）は充実している ❖



❖ 私は黒松内町に愛着がある ❖



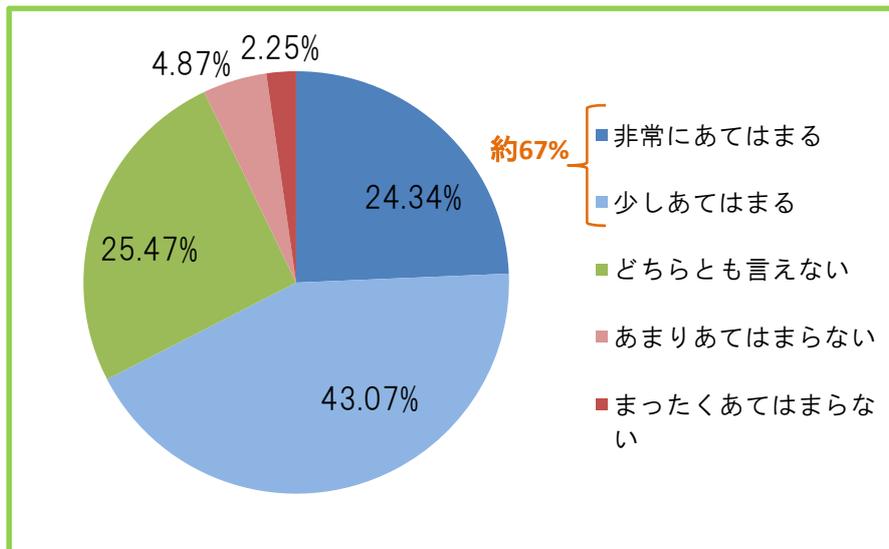
❖ 私は黒松内町に誇りをもっている ❖



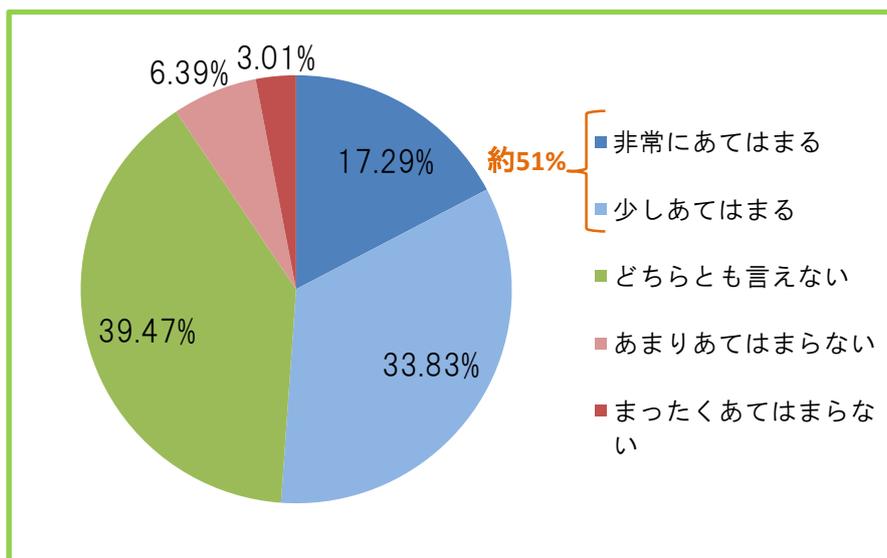
・・・あなたご自身について・・・



❖私は黒松内町に自分の居場所がある❖



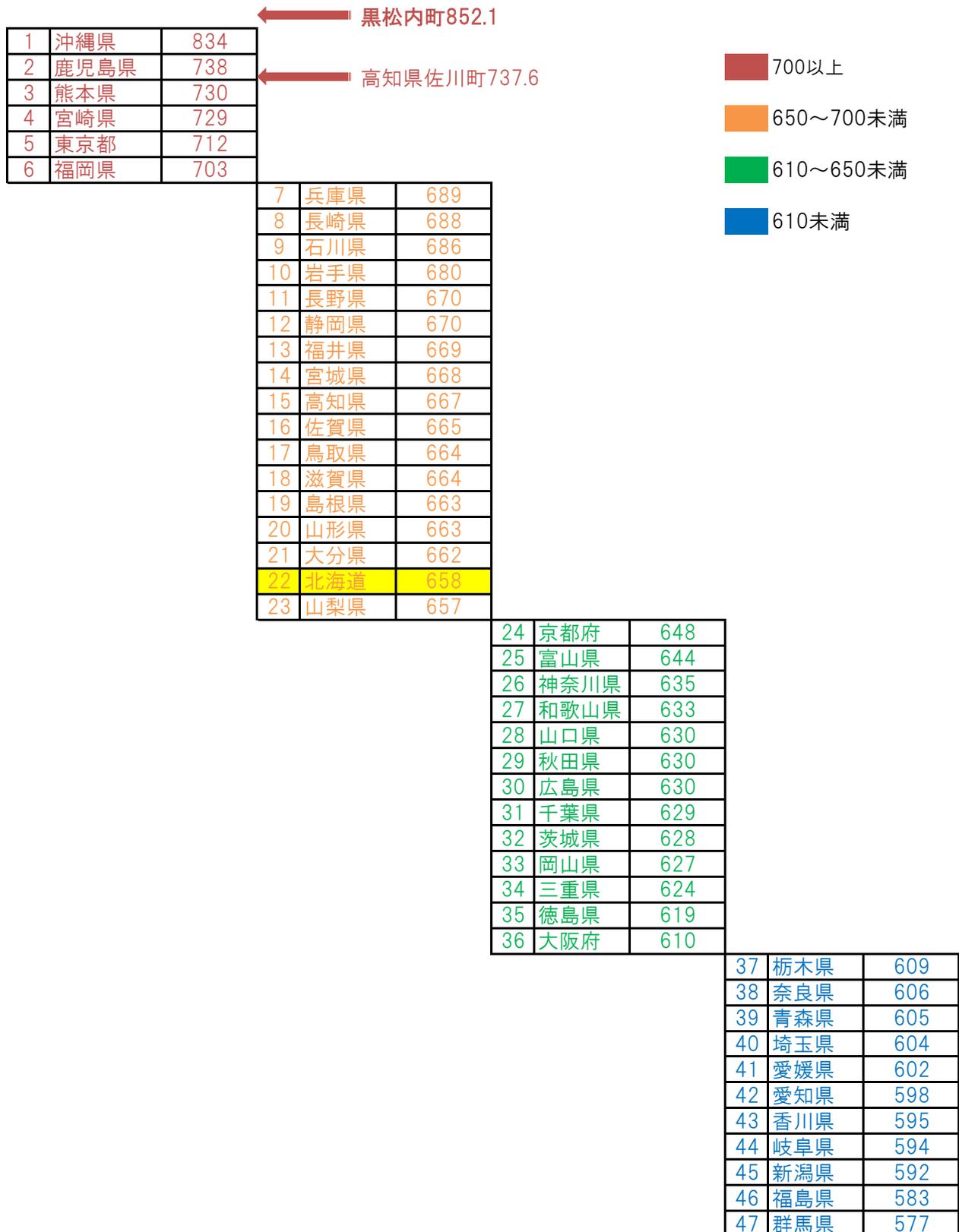
❖私は黒松内町に貢献したいと思っている❖



❖ 黒松内町の幸福度（全国比較） ❖



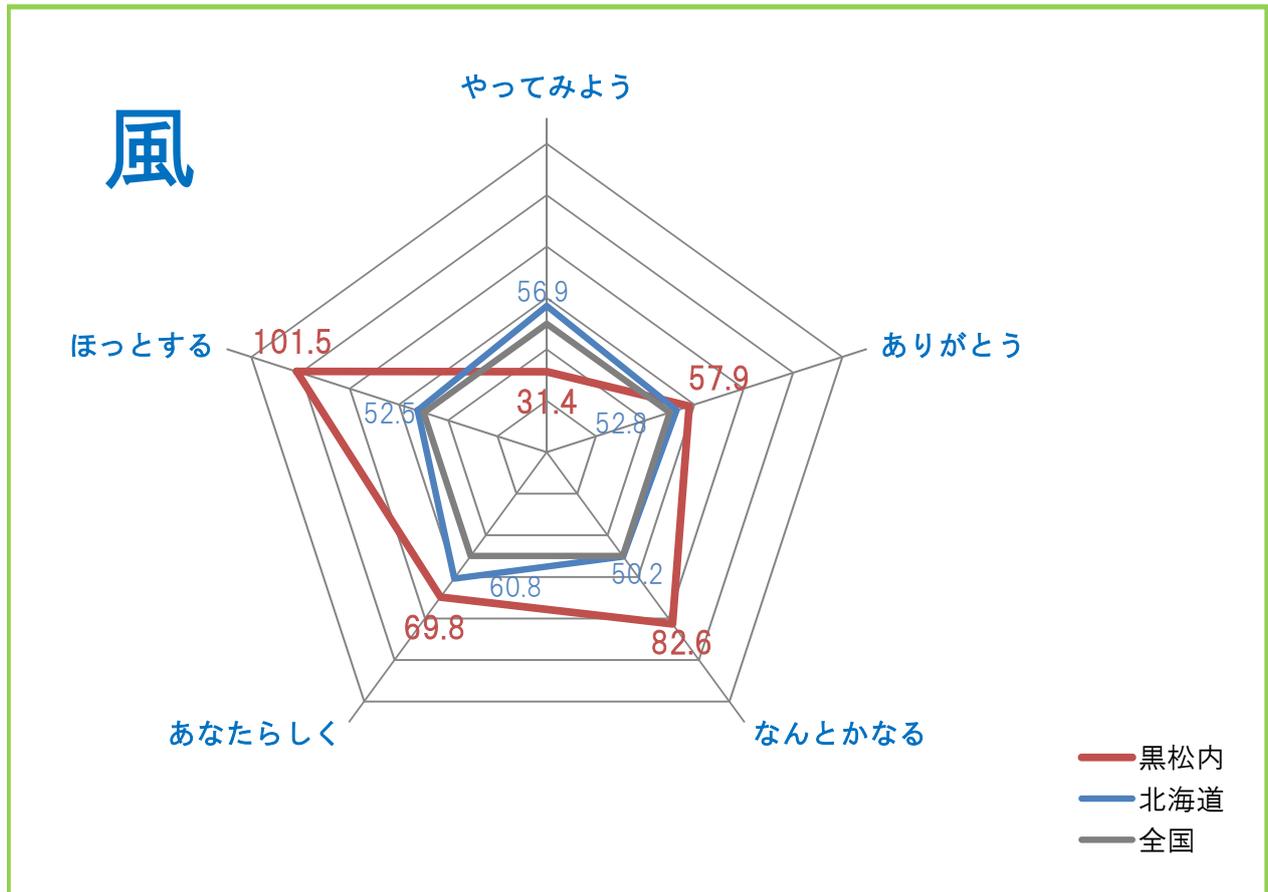
全国15,000人を対象とした各都道府県別の地域しあわせ風土スコアを測定した結果数値（風スコア・土スコアの合計）を高い順にランキングしました。黒松内町の風土スコアは852.1（風491.3+土360.8）と全国の都道府県との比較では1番高く、町民の総合的なしあわせ度は高いと言えます。



❖ 個人が感じるしあわせな気持ち『風スコア』 ❖



その土地で暮らし、個人が感じるしあわせな気持ちを測定したものが、風スコアです。下の図の五角形はそれぞれの5つの指標を、47都道府県の平均値を50としたときの北海道と黒松内町それぞれの指標の偏差値です。黒松内町の風スコアは全体的に偏差値が高めですが、『やってみよう』指標のみ全国と北海道を下回っています。新しいことにチャレンジしていくことが黒松内町民の幸福度向上につながりそうです。



【風】10の質問

やってみよう指標

- 得意としていることがある
- 何か、目的・目標を持ってやっていることがある

あなたらしく指標

- 自分と他人をあまり比べないほうだ
- 他人の目を気にせずに、自分がやるべきだと思うことはやる

ありがとう指標

- 人を喜ばせることが好きだ
- いろいろなことに感謝するほうだ

ほっとする指標

- 現在の暮らしや、自分の将来への不安は少ない方だ
- 自分は安全な生活を送っていると思う

なんとかなる指標

- いまかかえている問題はだいたいなんとかなると思う
- 失敗やいやなことに対し、あまりくよくよしない

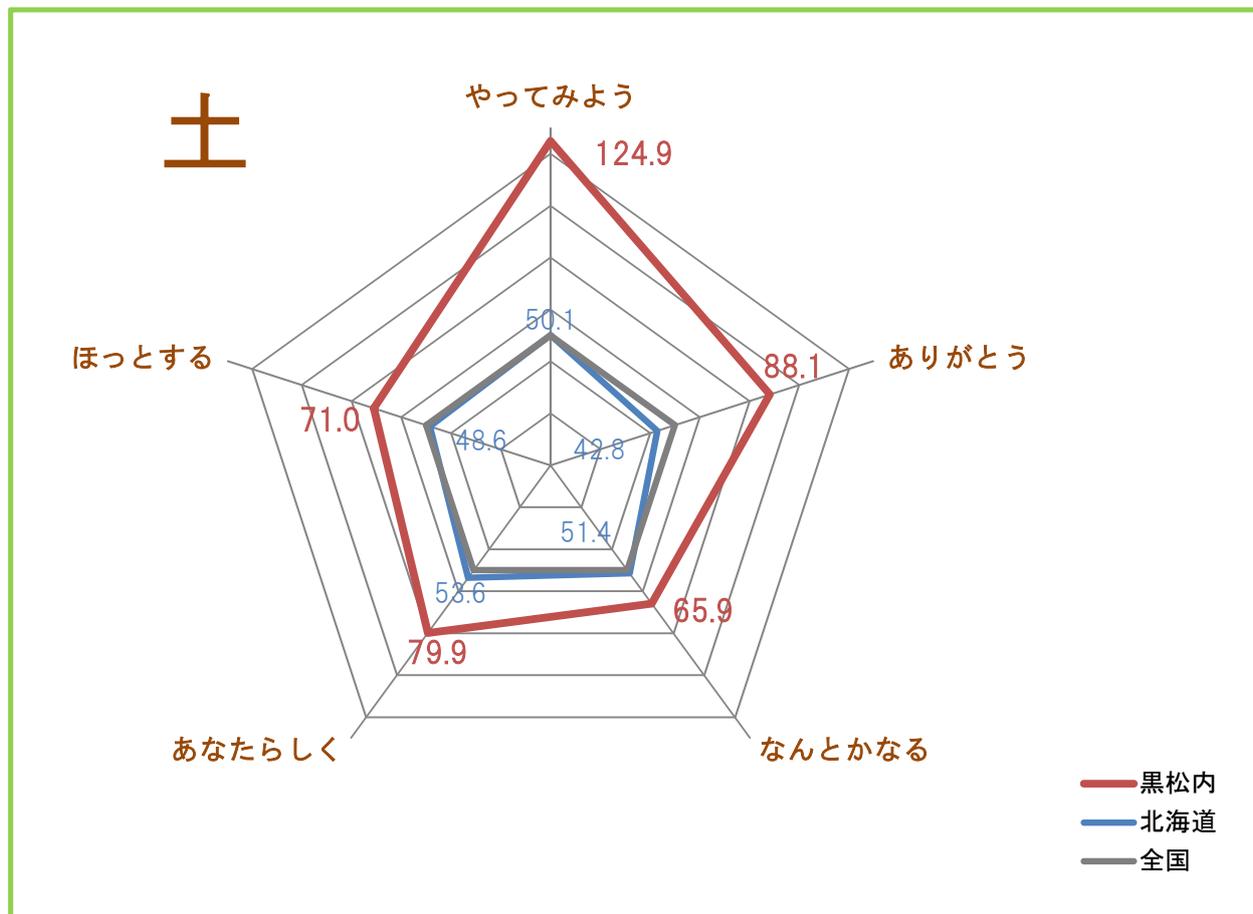
※風スコアの算出方法

上記10の質問の5段階評価（非常によく当てはまる、少し当てはまる、どちらともいえない、あまり当てはまらない、全く当てはまらない）のうち、『非常によく当てはまる、少し当てはまる』の2項目の合計パーセントを全て足し上げて算出しています。

❖ しあわせな気持ちを育む『土スコア』 ❖



地域に個人がしあわせな気持ちを感じること（風）を後押しする土壤が育まれているかどうかは土スコアです。下の図の五角形はそれぞれの5つの指標を、47都道府県の平均値を50としたときの北海道と黒松内町それぞれの指標の偏差値です。黒松内町の土スコアは全体的に全国、北海道を上回っています。特に『やってみよう』の指標値は非常に高く、頑張っている人を応援する地域性があるようです。



【土】10の質問

やってみよう指標

- 1.自分の好きなこと、得意なことに熱中している人が多い地域性、風土
- 2.目標を持って頑張る人を応援する地域性、風土

ありがとう指標

- 3.助け合いや感謝の気持ちを大切にする地域性、風土
- 4.人間関係が豊かで、挨拶や笑顔あふれる地域性、風土

なんとかなる指標

- 5.挑戦することを応援し、失敗を許容する地域性、風土
- 6.楽天的、前向きな地域性、風土

あなたらしく指標

- 7.人とちがうこと、個性を大切にする地域性、風土
- 8.よそもの、若者、マイノリティなど多様な人を受け入れる地域性

ほっとする指標

- 9.食べ物や、住まいには困らない地域性、風土
- 10.身の危険を感じず、安全に暮らせる地域性、風土

※土スコアの算出方法

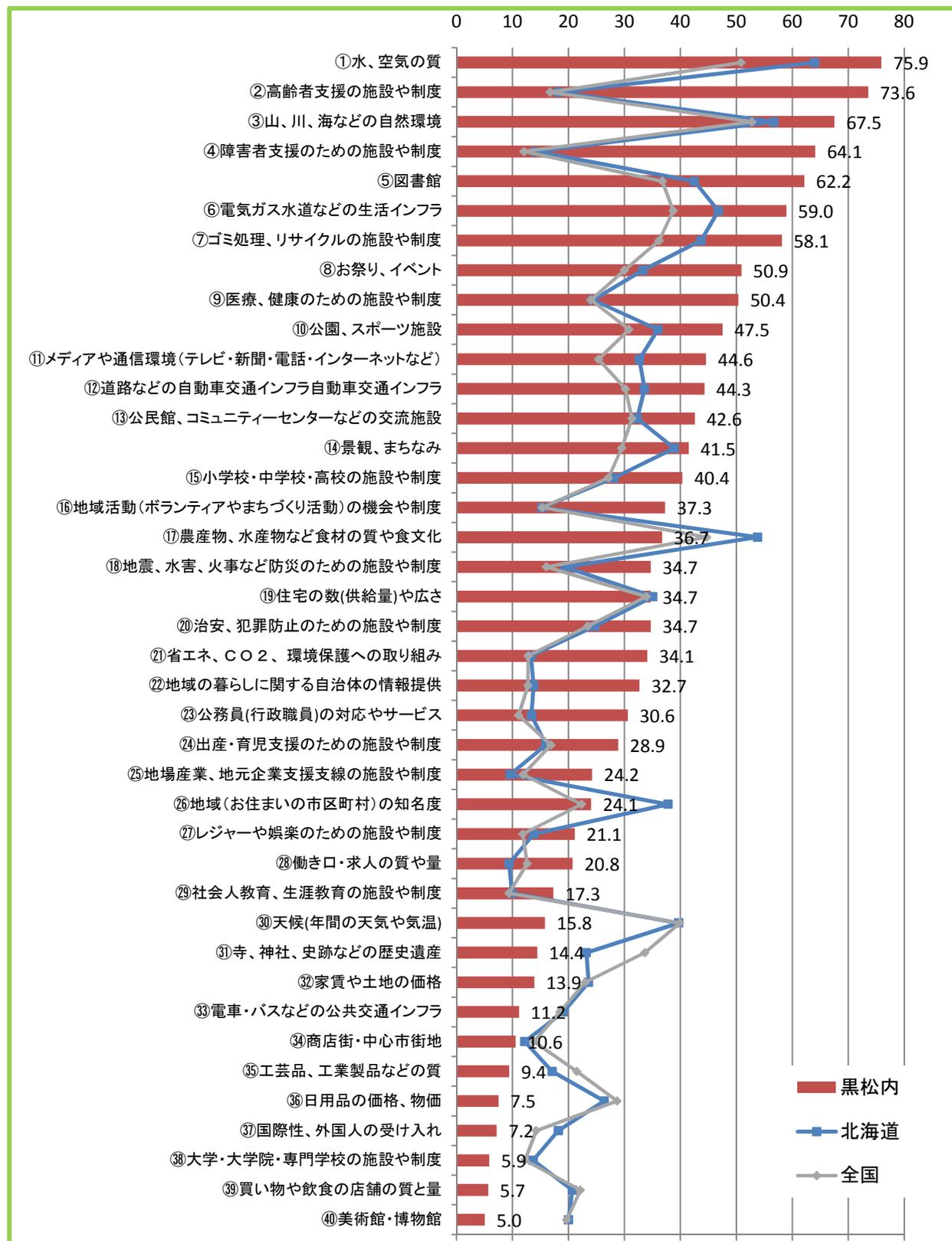
上記10の質問の5段階評価（非常によく当てはまる、少し当てはまる、どちらともいえない、あまり当てはまらない、全く当てはまらない）のうち、『非常によく当てはまる、少し当てはまる』の2項目の合計パーセントを全て足し上げて算出しています。

❖地域のインフラや環境に関する充実度❖



しあわせを感じる町民『風スコア』を増やし、こうした気持ちを後押しする『土スコア』を強化するために何が必要なのかを探るため、地域を構成する地域エレメント40項目（地域環境、インフラ、行政サービスなど）のアンケートを分析しました。充実している項目を高い順番で示したのが下の表です。

❖地域エレメント40項目❖



❖全国の調査による『風』スコアと相関係数の高かった上位5項目❖
(地域エレメント40項目中)



順位	やってみよう		ありがとう		なんとかなる		あなたらしく		ほっとする	
	項目	スコア	項目	スコア	項目	スコア	項目	スコア	項目	スコア
1	公民館	0.331	地域の知名度	0.391	景観・まちなみ	0.471	お祭・イベント	0.320	娯楽施設・制度	0.596
2	地域の知名度	0.325	国際性	0.362	地域の知名度	0.441	地域の知名度	0.306	地域活動の機会・制度	0.593
3	地域活動の機会・制度	0.300	景観・まちなみ	0.329	治安・犯罪防止	0.423	景観・まちなみ	0.185	公園・運動施設	0.573
4	国際性	0.294	地域活動の機会・制度	0.293	自治体の情報提供	0.408	娯楽施設・制度	0.179	景観・まちなみ	0.569
5	公園・運動施設	0.291	公民館	0.265	地域活動の機会・制度	0.404	商店街・中心市街地	0.155	自治体の情報提供	0.568

全国を対象とした調査を元に分析したものは、5指標間で共通して登場するエレメントが多いことが特徴です。地域力があり、地域活動が活発で娯楽の場が充実していて、オープンな町に幸せの風は吹くようです。

黒松内町は個人の感じる（風）『やってみようスコア』が低めでした。これは指標の⑳『地域の知名度』、㉑『国際性』を全国・北海道の平均を下回っています。⑬『公民館、コミュニティーセンターなどの交流施設』や⑯『地域活動の機会や制度』は充実しているものの、外国人を含めたヨソモノを受け入れる文化が個人のしあわせにつながりそうです。

❖全国の調査による『土』スコアと相関係数の高かった上位5項目❖
(地域エレメント40項目中)

順位	やってみよう		ありがとう		なんとかなる		あなたらしく		ほっとする	
	項目	スコア	項目	スコア	項目	スコア	項目	スコア	項目	スコア
1	飲食・買物店舗	0.804	水・空気の質	0.426	娯楽施設・制度	0.602	商店街・中心市街地	0.801	食材の質や食文化	0.691
2	地域活動の機会・制度	0.803	食材の質や食文化	0.412	商店街・中心市街地	0.595	娯楽施設・制度	0.799	水・空気の質	0.580
3	商店街・中心市街地	0.796	自然環境	0.400	飲食・買物店舗	0.584	国際性	0.795	治安・犯罪防止	0.574
4	娯楽施設・制度	0.793	治安・犯罪防止	0.371	国際性	0.584	飲食・買物店舗	0.793	ものづくりの質	0.569
5	自治体の情報提供	0.774	ものづくりの質	0.351	地域の知名度	0.558	公共交通インフラ	0.764	自然環境	0.539

土スコアは風スコアとは異なり、それぞれの指標間で違いがみられます。地域で活動的に暮らすための食・娯楽・買い物の場と外国人を含めたヨソモノを受け入れられる文化が関連ありそうです。

黒松内町はどの項目でも全国、北海道の平均を上回っています。これは①『水・空気の質』③『山・川・海などの自然環境』⑳『治安・犯罪防止のための施設や制度』㉒『地域の暮らしに関する自治体からの情報提供』㉔『レジャーや娯楽のための施設や制度』といった地域性が充実していると言えます。しかし、⑯『食材の質・食文化』⑳『ものづくり』㉑『地域の知名度』㉒『商店街・中心市街地』㉓『買い物や飲食の店舗』㉔『電車、バスなどの公共交通インフラ』は全国・北海道の偏差値を下回っています。食・娯楽・買い物の場など、開かれた地域性を充実させることが、しあわせを後押しするようです。

❖ 黒松内のまちの声 ❖



観光交流施設について

- 『道の駅に変化がなさすぎます。』
- 『道の駅の質が下がっていると思います。ニセコ等は工夫がされていた。』
- 『第3セクターの充実を図ってほしい。(特に自然の家、黒松内温泉)』
- 『トワヴェール近くにドッグランを作って欲しい。ブナセンターにあるドッグランは利便性が悪く、わざわざあそこまでは行きにくいし300円は高い。』
- 『ぶなの森温泉が朝5時から営業してほしい。』
- 『町の知名度が停滞している。もっとPR、マスメディアの活用力。』

医療・福祉について

- 『黒松内町は福祉のまちづくりをもっともっと充実させてほしい。』
- 『本当に困った時、施設にすぐ入れるのかなど日頃の不安です。』
- 『町政が福祉関係に偏っているように感じます。』
- 『医療に対する助成制度が充実していることが町の魅力の一つだと思います。』
- 『福祉が重要なのも良く分かりますが、人口が減り続けていることに関してはどう考えているのかな？と思うところもあります。以前開催されたお見合いの企画？も正直なぜ、やったんだろう？という疑問しか浮かびませんでした。』

農業について

- 『自然も良いけれど他県のように地熱を使って地方の農業を考えるのも良いと考える。』

教育について

- 『もっと黒松内の歴史を知りたいです。』
- 『環境保全に関する学習の場を増やして欲しい。』

生活（ゴミ）について



- 『ゴミ袋の価格が高い。少数枚で買えるようにしてほしい。』
- 『ゴミの分別方法が細かすぎる、また冬場でも生ゴミだけでも週2回にしてほしい。』
- 『町指定のごみ袋の値段が下がってほしいが、プレミアム商品券でゴミ袋が買えるのは非常にありがたいです。』

生活（住まい）について

- 『公に不動産を扱っている方がいないので家探しに困る（次に職）』
- 『もっと安い住宅を建ててほしい…。住宅の建て替えは仕方ないですが家賃11万は高い。役場職員との（住宅の家賃）差がありすぎます。』
- 『1～2人暮らしされている方の家が不足していると思います。』
- 『共働きの夫婦が住めるアパートが少ない。あっても、所得によって高い。定額のアパート等がもっとあった方が助かる。』
- 『町営住宅の家賃値下げ、空家情報など回覧板で知りたい。』

生活（健康）について

- 『町の中にウォーキングコースがほしい。フットパスは熊が出そうで怖い、野球場又はスキー場の所に散歩コースがあるとうれしい、体育館にはあるのかな？』

生活（景観）について

- 『役場前に花を植えているますが、環境や美しくとかがあるのであればいろんな種類や並び方を決めた方がいいと思います。』
- 『景観条例が厳しい割には、町の景観に統一感がない。』
- 『町の建築物はほとんどが灰色で景観上好ましいとは思えない。特に小学校などは、子供が絵にした時楽しい気持ちになれない。』



生活（商店街）について

- 『飲食店が少なく、座れるトイレが少ないので子供を連れて外に出ずらい。他の地域の方が困っている。』
- 『町の中にコンビニがもう1件（セブンイレブンかローソン）ほしい。』
- 『コンビニが近くに欲しい、魚等を買うようにしてほしい、冬の除雪を増やしてほしい。』
- 『人口減少の歯止めを考えるのであれば、いろんな企業など受入れることも大事だと考える。そうでなければ人口の減少、町内での若者が出るばかりであり、商店街もシャッター通りにならないのではないかと私は思う。』
- 『買い物、飲食店などの利用は地元をなるべく利用するようにしていますが、地元の公務員の方の姿が見られないような感じがします。地元の活性化を考えているのでしょうか？』

地域コミュニティについて

- 『人が集まるような場所が少ない。町外の学生が帰省しても友人同士で集まる場所が全くありません。（若者には厳しい）』
- 『若者がもっと自由に集まれる機会、場所を作ってもらいたい』

役場について

- 『弱者に思いやりのある暖かい町にして頂きたいと思います。』
- 『町民の為に日々ありがとうございます。』
- 『若くても安心して結婚に踏み切れるような町になればいいなと思います。』
- 『このままではなんにもしないと限界集落を迎えるだけだ。行政と黒松内は真剣に考えなければならぬ。立派な人材を育成してほしい。』
- 『黒松内町の人口が著しい減少が不安です。』
- 『回覧板は紙資源の無駄遣い（新聞折り込みも）、「防災無線」をもっと使ってほしい。』
- 『防災無線の入りが悪く情報が十分に入ってきません。』
- 『防災無線で毎日決まったことを言うのではなく天候や出産報告なんかをして』



欲しい。』

『町内会制度を廃止または改正・統合の時期だと思います。町内会に参加する町民はほとんどいません。』

『住民と役場職員、臨時職員も会話不足を感じます。日頃より挨拶を交わす努力があってほしい。』

『役場の人の対応がそっけなく誰かに任せておけばいいという感じが出ていると思う。』

『役場職員の人数が多すぎます。』

『役場の人達の対応が冷たい。他の市町村の役場はもっと対応がしっかりしている。もっと役場に行きたいと思えるようにしてほしい。』

『税金を何に使っているかわからない』

『町を支えている町民の意見を多く聞くことが課題。行政に活気が無い。(メリハリ、柔軟性をもつべき。)有能な若い職員の能力を、より伸ばす努力を望む。継続事業や〇〇委員、各種団体など長きにわたりマンネリ化しているものが多くある。マンネリは、停滞と後退のなにもものでもないので、実績の検討、精査、改廃、必要性の検討を行うべき。これを実行することにより、真の活性が図られると思う。活性を本気で考えるなら、改革を断行する。ある意味、安定は停滞と後退以外は何もない。

郷土の歴史を、町民みんなが知っていることが、郷土愛の一つと考える。町の歴史を分かりやすく現代にあった形で整備すべき。立派な郷土資料館は必要ないので、田舎ならではの「郷土資料館」の整備を願いたい。

行政は、もっと時代を見据えた考えに立って欲しい。「出来ない」という結論ありきではなく、「何ができるだろう」という、常に前に向かった考えをもって欲しい。町民との距離を縮める努力をもっとすべき。そして町の進むべき方向性をはっきり伝える事が肝要。語弊があるかと思うが、町民教育は、行政の最も大切な業務と思う。様々な考えや意見を持った町民の様々な意見や考えを吸い上げ、町は将来の進むべき方向を決定し、示す事が必要。いろいろな計画があるが、町の「現実」をしっかりと見直し、都度、変更を加えるようにして欲しい。豊かな自然と美しい風景の保存を真剣に取り組むべき。

以上のことは、現実をしっかりと見る、という事が最も大切。精神論は不要。耳障りのいい言葉も不要。過去と現実をしっかりと把握し、将来の黒松内町のビジョンを、揺るぎないビジョンと黒松内町のデザインを期待します。』